



## 「地域ボランティア」

「三ツ又沼ビオトープ」  
で外来植物退治

5月7日の今年度第一回環境ボランティアに、12名が参加した。今回は、NPOエソハンスチャーニー江川・江川の皆さんに合流して、ハンノキ広場の外来植物抜取りを行った。

オオブタクサ・セイタ

カアワダチソウはまだ小さいのですが、抜けたが、在来種のギシギシはゴボウの小さな根が張っています。小さい鍬を使って掘り起こした。白い花が咲いているハルジオンや黄色い花のカラシ菜も、抜取対象。すぐ近くで、鶯が鳴いていた。抜き取ったものはゴミ袋に入れて搬出。本日の成果の前で記念撮影、そして、木道

を一周して30分ほど自然観察会を行った。桑が青い実をつけていた。その後、爽やかな汗を流した参加者は、三ツ又沼前の「クヌギ広場」の木陰で昼食をとり、解散した。

## 「高尾宮岡」で

カナムグラ抜き取り

6月2日、北本市「緑のトラスト保全8号地：高尾宮岡の景観地」で実施した。

緑のトラスト協会の方たちの活動に参加する形で作業を行ったが、伊奈学園18期生の顔も数人見えた。晴天に恵まれて爽やかな風が吹き、作業には最高の日和となつた。参加者は18名と多数、その内半数が初参加であつた。

一昨年は外来植物のセイタカアワダチソウを、昨年はオオブタクサを抜取つたが、今年の主役はつる性植物の「カナムグラ」。鶯のなき声を間近に聞きながら、皆さんは黙々と抜取り作業に取組み、順調にすすんだ。抜いたクサは一輪車で運び、片付けた。斜面林からな



## 「彩央会」のボランティア活動で感謝状

平成24年7月8日、北本市文化センターで「北本自然観察公園開設20周年記念フォーラム」が開催されたが、その席で「彩央会」が同公園の環境管理を定期的に行うボランティア団体（年4回実施）として、公園の指定管理者である埼玉県生態系保護協会から、団体として初めての感謝状をいただきました。



ア53名にも同様に感謝状が贈呈され、その中には北本の天野健（12期）さんがおられた。

（17期 熊谷）

## 「一芸披露会」



## 「一芸披露会」

披露会」が、6月21日、北本市文化センターで開催し、民話、フラダンス、民謡、太極拳、ひよっこ踊り、講談、と多才多才、出演者一同、日頃の成果を存分に発揮、楽しい時を過ごした。

（17期 外川）

## ニッセイ財団の表彰

平成24年6月8日、埼玉県知事公館において、上田知事出席のもとに日本生命財團の助成金贈呈式が開催され、17期「民話の会どんとはれ」が「生き生きシニア活動顕彰」を受賞した。本年は埼玉県で6団体・30万円（1団体5万円）が贈呈されたが、その中に14期「武州伊奈相撲甚句会」も入っていた。

（20期 荻野）

（17期 熊谷）

（17期 熊谷）

（16期 対尾）

（16期 対尾）